

## 第8回 第5次焼津市総合計画策定市民会議 概要

日時 平成21年12月19日(土)9:00~12:00

場所 大井川庁舎3階 大会議室

第5次総合計画の基本構想部分にあたる「土地利用の構想」について、検討を行いました。

検討作業は、まず事務局より 現行(旧市町)の土地利用構想について、焼津市国土利用計画の策定について、第3次焼津市国土利用計画策定の基本的な考え方について、合併基本計画における土地利用のあり方及び重点プロジェクトについて、市民意識調査の結果についての説明を行い、その後グループワークを行いました。

グループワークは、「合併基本計画の土地利用のあり方」について、「現行(旧市町)の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について、市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方(賛否)について意見を交わし、班ごと取りまとめ、発表を行いました。

今回は出席人数の関係で、安全都市基盤班が二手に分かれ、合計5班で検討しました。

### 会長挨拶

今日は土地利用の話ということで、今までと少し視点を変えた話になると思う。我々もいい勉強になると思う。

年末で忙しいせいも、今日は出席者が少ないが、その分、大いに学んで欲しいと思う。

### 事務局の説明に対する質疑応答

- (質問) 国土利用計画は国、県、市とそれぞれ計画を策定しているが、国や県が考えている志太榛原地区の土地利用について、具体的方針があるようなら教えてほしい。
- (回答) 国土利用計画は非常に大きくくりな計画であり、具体的な計画ではない。静岡県では伊豆半島地域、東部地域、中部地域、志太榛原中東遠地域、西部地域という地域区分をし、方針は出ているが、非常に抽象的表現でまとめている。
- (質問) 市民意識調査については、どのように行ったのか。
- (回答) 今年の3月に無作為で3,000人を抽出し、調査票を郵送し、返信していただいた。1,660人の方から回答をいただいた。
- (質問) 市民意識調査や、我々の意見というのはどの程度反映されるのか。
- (回答) 当然反映させていきたいが、市民意識調査の結果をみると、どれかの項目に突出した結果が出ていないのでなかなか難しいところがあるが、市民意識調査の結果も本日の議論の結果も、市役所庁内組織に伝えていく。

### 検討結果(発表の概要)

< 協働行財政班 >

(3)市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・旧大井川町の「田園集落ゾーン」に今後工業系を設けていくと思われるが、ただ工場を増やすのではなく、富士山静岡空港などとの連携を図り、観光地としての土地利用も必要だと思う。

- ・合併したことで港が3つ存在するが、魚の水揚げだけでなく、港自体を観光地とした土地利用が図れないか。
- ・バランスを考えると現行のような土地利用になるだろうが、例えば田んぼは焼津市内になくていいのなら、調整区域を市街化区域にし、市街化を進めるという考え方もあると思う。

#### < 産業経済班 >

##### (1) 合併基本計画の土地利用のあり方について

- ・多岐にわたった考え方だが、全て満たされればいいまちになると思う。
- ・大企業が市内に進出すれば、安定した雇用が生まれる。企業が進出する際には、焼津市に本社、本拠地を置くような仕組みが行政でできればいい。
- ・企業の製品を地元が応援する仕組みがあればいいと思う。

##### (2) 現行（旧市町）の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について

- ・焼津新港の未利用地を活用できないか（水際の利用）。深層水の研究施設や競艇場等。
- ・大井川港をもう少し活用できないか。伊豆との定期交流の拡大等。
- ・漁港であるため規制が厳しい面があるが、規制緩和し、利用の幅を拡大すべき（全国から愛好家が集まるように）。ヨットハーバー、プレジャーボート、釣り場の整備等。
- ・高草山等の観光開発ができないか。ロープウェイ等。
- ・大井川港からの景観を活かせないか。定期航路だけでなく遊覧船等。
- ・水族館等、観光客に見せるための施設も必要。
- ・旧焼津市街地の住宅密集地（焼津漁港周辺）にある空き家の開発ができないか。
- ・静浜基地の航空祭を、市と連携してできないか。
- ・大井川港の河川敷を利用してマラソンコースの整備ができないか。

##### (3) 市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・基本的には賛成である。
- ・新インター周辺地域が工業系土地利用で考えられるが、ここは同時に良好な田園であるので、一定程度にとどめておくべきではないか。
- ・藤枝市にできる第2東名の新ICを活かして、策牛や方の上地区と藤枝市横内地区と連携した工業地の開発の可能性もあるのではないか。
- ・臨海工業地域としては大井川港周辺が向いていると思う。
- ・工業地が住宅地の中にある傾向があるので、郊外にうつす工夫ができないか。

#### < 教育文化班 >

##### (1) 合併基本計画の土地利用のあり方について

- ・人が暮らしやすい、集まりやすい土地利用を行うことによって、市域は発展していくと思う。

##### (2) 現行（旧市町）の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について

- ・必ずしも、ゾーンに振り分けなくてもいいのではないか。
- ・バランスにかけているのではないか。
- ・農地はあれば確かにいいが、それを維持管理するのはとても大変である。草も生え、自分の田んぼだけでなく、隣接する用排水路の草取りも必要。高齢化すると、草

取りも大変である。行政でその辺りを考えてほしい。

(3) 市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・工業系より商業系のほうがいいと思う。食関連の企業進出を進めたらどうか。
- ・焼津市にはいろいろなものがあるが、使う人の立場になっていない（だから人が集まらない）。例えば、高草山にしても景色がいいが、行けばトイレがない、喫茶店がない。アクアスやいづにしても商業系のセンスが足りない。用宗の広野海岸公園などを参考にしたらどうか。施設をつくるのに中途半端であり、行政の意識改革が必要。
- ・富士山のみえるところを有効活用できないか。
- ・漁船に乗って体験できるようなものがあればいいと思う。
- ・若者向けの店が少ない。魅力的な市になれない。

【会議終了後に、ある委員より、発表者の発表内容が 班で検討した内容と異なる、ということで以下のとおり補足の説明があった】

(2) 現行（旧市町）の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について

- ・ゾーンに振り分けなくても、各コミュニティ（公民館）単位でライフサイクルにおいて必要なものが満たされるようにして欲しい。
- ・子供や老人が歩いて暮らせるまちが理想的。
- ・市域でバランスを図るのではなく、もっと小さい単位でバランスを図って欲しい。

(3) 市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・人口減少や環境問題の顕在化、これまでの大量生産・大量消費型の社会が見直されつつある中で、工業系の土地利用を進める地域を拡大するという考え方は時代に逆行している。
- ・安全で質の高い日本の農産物を海外に輸出するなど農業ビジネスに力を入れるべきであり、そのためにも農地を守るべき。

#### < 福祉保健医療班 >

(1) 合併基本計画の土地利用のあり方について

- ・基本的な考え方は賛成である。
- ・「財政的自立、経済的に安定した市民生活を図るための土地利用」にて、「…画一的な考え方に捉われない企業立地を進める土地利用を図ります。」という意味がよくわからない。もう少し具体的に、わかりやすい表現にしたらいいと思う。

(2) 現行（旧市町）の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について

- ・新IC周辺は現状「田園集落ゾーン」であるが、外部から人が集まり、新たな賑わいを創出するためには「工業集積ゾーン」というようなエリアにしたほうがいいと思う。

(3) 市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・自主財源の確保、雇用の推進につながるならば、賛成である。
- ・ただ、厳しい経済状況を考えると、安易な工業団地造成は、失敗してマイナスになることも心配される。
- ・企業誘致については、企業はどこでもいいわけではなく、市民意識調査でも若い人は「自然重視」、年輩は「企業誘致」という傾向にあり、意見が違うので、重工業系ではなく、公害、環境にあまり影響のない企業がいいと思う。
- ・おいしく、豊富な水資源があるので、医薬品、食品関連の企業がいいのでは。

< 協働行財政班 >

(1) 合併基本計画の土地利用のあり方について

(2) 現行（旧市町）の土地利用構想の各ゾーンの課題や問題点等について

- ・「にぎわいエリア」が3カ所あるが、焼津港の魚や食を活かした活性化が必要である。
- ・工業地域関係については、焼津市単体だけでなく、藤枝市や島田市と連携した広域の関係での計画が必要ではないか。
- ・教育や人材育成という観点で、学校誘致や、文化的な活動をする施設（エリア）が必要ではないか。
- ・150号バイパス等、幹線道路周辺の商業エリアも必要だと思う。
- ・小泉八雲記念館等、案内しにくい面があるので、観光の流れを意識したことも必要だと思う。

(3) 市の「工業系の土地利用を進める地域を拡大したい」との考え方について

- ・基本的には賛成である。
- ・世界情勢等を考えると、国内に企業をつくるのではなく、海外のほうがいいのではないか。慎重な考えも必要である。
- ・工業地域をつくるのであれば、観光面の配慮も必要だと思う。
- ・雇用確保という点では、もう少し商業地域を増やすべきだと思う。

**その他（事務局からの連絡）**

- ・今年度（3月まで）は残り4回を予定している。次回は1月16日（土）9:00～16:00開催する。検討事項は「市民と行政の役割分担」。
- ・本日議論した「土地利用」については、次回は1月30日9:00～12:00（土）に行う。
- ・平成22年度は3回を予定している。

**第8回市民会議の状況**



第8回市民会議
班別発表